



# 太平洋戦争前後の日米交流

## ～岩手の記憶～

日米の緊張が高まっていた昭和初頭、米国人宣教師の提唱で日本に多数の人形が送られてきました。「青い目の人形」です。これに対して日本からも答礼人形が送られました。こうした民間レベルでの日米交流にもかかわらず、1941年、日本は米国との太平洋戦争に突入しました。米国の日系人は強制収容所に入れられ、苦難の道を強いられます。その日系人の中に、盛岡出身の浅野七之助氏がいました。

戦後、祖国・日本の窮状に心を痛めた浅野氏は、日系人社会を中心に食糧物資や資金提供を呼びかけました。これが「ララ物資」です。

このたび、戦前・戦後の日米交流をテーマに公開講座を企画しました。米国からは浅野七之助氏のご子息タダシ氏をお迎えします。ふるってご参加のほど、お待ちしております。

<p>《第一部》 日米交流の証し</p> <p>11月18日(木)</p> <p>開場：午後2時30分 開演：午後3時 終演：午後5時30分</p>	<p>1. 高岡美知子(前武庫川女子大学教授・答礼人形研究家) 『人形は語る 伝えるは人間』</p> <p>2. 魚住恵(岩手県立大学盛岡短期大学部教授) 『ララ物資と学校給食』</p>
<p>《第二部》 もうひとりの太平洋の かけはし</p> <p>11月25日(木)</p> <p>開場：午後2時30分 開演：午後3時 終演：午後6時</p>	<p>1. 鎌田聖美(盛岡市先人記念館学芸員) 『新渡戸稲造から浅野七之助まで』</p> <p>2. Tadashi Asano 『日米交流に努めた岩手の先人・浅野七之助』 通訳：佐藤智子(岩手県立大学教授)</p>

会場：岩手県立大学アイーナキャンパス学習室1  
盛岡市盛岡駅前西通1-7-1 いわて情報交流センター(アイーナ)7階

参加費：無料

対象者：県民のみなさま

申込方法：電話、FAX又はE-mailでお申し込み下さい。

電話：019-606-1770

FAX：019-606-1771

E-mail:t-yama@iwate-pu.ac.jp

### 【問い合わせ先】

岩手県立大学総合政策学部

山本 健

E-mail:t-yama@iwate-pu.ac.jp

電話：019-694-2700